

事業実績シート

1 事業の概要

協会事業名	<input type="checkbox"/> コミュニティ活性化支援事業 <input type="checkbox"/> 定住促進事業 <input type="checkbox"/> 地域特産品需要拡大支援事業 <input checked="" type="checkbox"/> 国際交流支援事業 <input type="checkbox"/> 長崎県防災航空隊常駐化支援事業			
自治体(団体)事業名	東彼杵町国際交流事業			
所管局部課	自治体(団体)名	所管部・課名	担当者名	連絡先(TEL)
	東彼杵町	教育委員会	遠岳 祐二	0957-46-0114
事業期間	開始年	平成29年8月24日 (2年目)		
事業実施手法	<input type="checkbox"/> 全部直営 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> その他[]			
実施期間	(開始日) 平成29年8月24日 (完了日) 平成29年8月29日			
委託した場合の委託内容	委託先機関名		担当者名	連絡先(TEL)
	(株)JTB九州長崎支店		本多 志帆	095-824-2400
	(委託内容) 視察団の移動等、全行程にかかる旅行手配			
助成事業の目的 <small>※住民視点を踏まえて記載してください。</small>	対象(誰を・何を)	意図(どういう状態にしたいのか)		
	町内の中・小学生	海外派遣による異文化体験を通して国際的視野を広め国際感覚を身に付けた人材育成を行い、これから国際協調を基にしたまちづくりを図る。そのために時代を担う児童・生徒の国際理解教育の拡充を目指す。		
助成事業の具体的な内容 <small>※事業をまったく知らない人でも、事業の実施内容や実施方法の概要が分かるように入力してください。</small>	オランダ視察(2017.8.24~8.29 4泊6日) 小学生6名、中学生2名、引率4名 計12名 8/25 日本国大使館表敬訪問、ゴッホ美術館等を見学 8/26 スマートアグリ視察、アンネフランクの家を見学 8/27 世界遺産キンデルダイク訪問 8/28 ライデン大学学生との交流、シーポルトハウス訪問、国立民族学博物館の見学 <small>これまでに教科書等の中でしか見たことのない絵画やアンネの家など本物・現実を体感。また、最先端の農業や学生との交流でリアルなオランダの文化に触れ、日本との違いを学び、異文化の理解を深めるきっかけとなった。授業だけでは学べない外国語学習の重要性を認識できた。</small>			
	(事業開始の背景)	東彼杵町は昔から転入者の少ない地域で、町外、県外、海外に対して積極的にアプローチするような町民性は少ない。しかし町では、これから交流人口の拡大と町をPRするためのツーリズムの普及を目指しているため地域に国際感覚を身に付けた人材育成が課題となっている。		
事業開始の背景、これまでの経緯及び現状	(経緯・現状)	国際的視野を身に付けた人材育成のきっかけとして、東彼杵町とつながりのある海外での異文化体験を模索していた。オランダは長崎と古くからの交流があるが、鎖国時代、シーポルトがオランダに持ち帰った資料の中に長崎街道筋の風俗を記録した風景画がある。「川原慶賀」の描いたその風景画の中に東彼杵町の風景が4枚も含まれており、その原画がライデン国際民俗学博物館に所蔵されているため、「東彼杵町を初めて世界に紹介したもの」として焦点をあてた。この風景画の見学を主眼におきながら、地域との交流などで異文化体験などの機会を創出できるような交流事業を計画した。 <small>これまで町では同様な事業の実績がなく、小・中学生の異文化交流の機会は提供できていなかったので、今回の事業継続で子供たちの学習への意欲向上につながることを期待している。また、学校でのALTとの交流により広く交流の機会を提供するため、昨年度よりALTの配置人数を小・中各1名の体制から各学校に1名ずつに増員したところである。</small>		

事業実績シート

2 実績結果

事業費の推移		前々年度決算		前年度決算		当該年度決算			
事業費（円）					4,756,033 円				
(財源内訳)	国庫支出金								
	県支出金								
	地方債								
	その他								
	市町振興共同事業助成金					925,000 円			
	一般財源					3,831,033 円			
(成果(活動)指標)	指標名		指標設定の考え方		単位	区分	前々年度	前年度	当該年度
	① 東彼杵町と世界の接点を見つける	東彼杵町を初めて世界に紹介した慶賀の風景画の実物を確認する		件	目標	—	1	1	1
					実績	—	1	1	1
					目標達成率 (%)	—	100	100	100
	② 異文化交流	地元ライデン大学生との交流や町中での交流を実践する		件	目標	—	1	1	1
					実績	—	1	1	1
					目標達成率 (%)	—	100	100	100

3 事業の振り返り

必要性の点検	(1) 公共性評価								
	(公益性)		(必需性)		私益 (-)				
	<input type="checkbox"/> 広く社会に利益をもたらすサービス		<input type="checkbox"/> 住民生活に必要不可欠なサービス						
	<input type="checkbox"/> 特定の個人又は集団のためのサービス		<input type="checkbox"/> 住民生活に必要不可欠ではないサービス						
<input checked="" type="checkbox"/> 上記以外の中間的なサービス			<input checked="" type="checkbox"/> 上記以外の中間的なサービス						
(2) 行政関与の妥当性評価		(3) 廃止又は休止した場合の影響							
妥当性低い (-)		妥当性高い (+)		(影響内容、程度等)					
				<p>町内初めての国際交流事業であり、町内小・中学生にとって将来、自分も参加できるチャンスがあるからこそ、学習意欲が高まっていく。 その大きな目標となりうる事業であり、町内小・中学生全体に影響を与えることのできるものである。</p> <p>廃止・休止した場合、初回参加者のみに事業効果は限定され、大きな広がりを期待できない。</p>					

事業実績シート

4 有効性の虚検、効率性の虚検

有効性の点検	(1) 成果(活動)指標の達成状況		(左記結果となった理由)
	<input checked="" type="checkbox"/> 成果(活動)指標の実績値は、目標をほぼ達成した <input type="checkbox"/> 成果(活動)指標の実績値は、目標を下回った		国立民族学博物館での川原慶賀作風景画を見学できた。また、ライデン大学生との交流では町散策まで同行してもらえたので、オランダの実生活に触れる機会が多く作れた。
	(2) 成果(活動)指標を向上させるため、事業内容や実施方法を工夫する余地		
	<input type="checkbox"/> 工夫の余地はない <input checked="" type="checkbox"/> 工夫の余地がある	(工夫の内容・工夫の余地がない理由) 事前学習を更に深めたり、県内留学生との交流などで準備を十分に行いたい	
実施予定期日	H30年度		
(3) 類似事業との統合		(統合可能性のある類似事業名、統合不可能な場合はその理由)	
	<input type="checkbox"/> 類似する事業と統合可能 <input type="checkbox"/> 類似する事業はあるが、統合不可能 <input checked="" type="checkbox"/> 類似する事業はない		
効率性の点検	(1) 民間委託化等の妥当性評価		(具体的内容)
	<input checked="" type="checkbox"/> 民間委託化や非常勤化等を検討すべき業務がある <input type="checkbox"/> 民間委託化や非常勤化等を検討すべき業務はない	企画のみ行政でうけもち、その実行部分は殆ど民間委託している。	
	(2) 受益者負担の適正化等による歳入確保		(判断理由と可能な歳入確保内容)
	<input type="checkbox"/> 既に受益者負担の見直し等で歳入確保を実施済み <input type="checkbox"/> 受益者負担の見直し等で歳入確保は可能 <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担の見直し等での歳入確保は困難	小・中学生を対象にしているため、一部負担の割合を多くは求められない。	

5 今後の方向性

必要性の点検から	<input type="checkbox"/> 事業休止	<input type="checkbox"/> 事業廃止	<input type="checkbox"/> 民営	<input type="checkbox"/> 事業終了（完了）	■現状維持
実施（予定）時期					
有効性の点検から	<input type="checkbox"/> サービス水準低下	<input type="checkbox"/> サービス水準向上	<input type="checkbox"/> 類似事業との統合		■現状維持
実施予定期					
効率性の点検から	<input type="checkbox"/> 委託化	<input type="checkbox"/> 非常勤化	<input type="checkbox"/> 受益者負担の見直し	<input type="checkbox"/> 広告料収入等の新たな歳入の確保	■現状維持
実施予定期					
具体的な内容	次期事業実施における町内小・中学生の反応を確認しながら事業の有効性を高めていく。 事業実施における民間委託化は既に行っており、この手法は継続する予定である。				